

	<p>学校だより</p> <h1>芽吹き</h1>	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう (賢く) 2 思いやりのある、心豊かな人になろう (優しく) 3 心身ともに、たくましい人になろう (逞しく)
<p>NO33 平成24年1月16日発行 中野区立南中野中学校</p>		

「どうせ無理だ」をなくすこと

校長 牧井直文

明けましておめでとうございます。

天候に恵まれ穏やかな年明けを迎えました。去年は重苦しい出来事が続いただけに、幸多い年を祈念し初詣に出かけた人が多いと聞きます。生徒たちも年頭に当たっての決意をしっかりと固め、夢や希望を叶える一年にしてほしいと思います。今年の干支は「辰」・・・。「昇り龍」の話にあるように、「辰(龍)は雲を突いて天に舞いあがる」と伝えられています。これにあやかり今年を飛躍の年にしたいですね。

さて、先日「北海道の片田舎にある町工場が世界中に注目されている」ということを知りました。この町工場は、炭鉱の閉山で過疎化が進む北海道の赤平市にあります。従業員が20名ほどの小さな事業所で、建物を解体する機械を製造している「植松電気」という会社です。

この会社では、本業の機械製造業とは別に、5年ほど前から宇宙開発事業をスタートさせました。宇宙開発は、国家的な規模で進められる事業です。それを、北海道の片田舎にある小さな町工場が行うというので、周囲からは「そんなことできるわけがない!」「利益にならないことを始めるなんて非常識だ。もったいない!」と言われたたそうです。しかし、社長の植松努さんは、周りの声に耳を貸さず事業を続けました。

現在、植松電気は、アメリカの企業と共同でロケットエンジンや小型人工衛星を開発し、さらに無重力用実験塔の開発なども進めており、日本で唯一の最先端宇宙開発企業として全国各地から見学者が絶えないそうです。

社長の植松努さんは、小さい頃から飛行機やロケットに興味を持ち、航空機の模型づくりや設計などにのめり込んでいました。学校の勉強はあまりしなかつたので成績は思わしくありませんでした。中学校の進路相談で「飛行機やロケットに関わる仕事に就きたい」と先生に話したら、「君の状況では無理だ」と言われたそうです。しかし、植松さんは諦めることなく、独学で航空機の勉強を続けました。そして、希望の大学に進学し流体力学という学問を専攻しました。大学卒業後は、小さい頃から憧れていた航空機設計会社で働きましたが、父の開いた家業を手伝うため、北海道に帰って植松電気の経営に乗り出しました。

小さい頃に思い描いた夢をずっと持ち続け、努力の果てに世界に注目される最先端の宇宙開発事業を成功させた植松さんの口癖は「「どうせ無理だ」という言葉をこの世からなくすこと」だそうです。

植松さんの宇宙開発事業の歩みは、まさに「昇り龍」のごとく飛躍の連続です。でも、それは子どもの頃からの夢を持ち続けた結果であり、人の知らない努力の積み重ねがあったからだと思います。本校の生徒たちも、夢や希望を育むことができるよう、自分を見つめ、これからの生き方を考え、将来を見据えて進んで欲しいと思います。

12月の主な行事

中学生意見発表会

12月3日(土)なかのZERO小ホールにて、中野区中学生意見発表会が行われました。本校からは生徒会長の藤原さんが代表でスピーチを行いましたので、ご紹介いたします。



「時間について」

中野区立南中野中学校 2年藤原

私は、今日皆さんにお話ししたいことがあります。それは「時間」についてです。「時間」には二つの種類があります。短く感じる「時間」と長く感じる「時間」です。皆さんは、どんな時に「時間」を短く感じますか？また、長くと感じますか？

私は、読書をしているときが一番短く感じます。それは、私が本を大好きだからです。本を読み始めると、物語に入り込んで時間が経つのを忘れます。つまり、自分の好きなことを進んでやる時は時間がたつのが速く感じるということです。逆に、嫌いなことや、やらなければならないと思うことをするときにはとても長く感じます。家の手伝いは死ぬほど長く感じます。けれども、そのどちらもが大切なものです。なぜなら、「時間」は人生そのものだからです。そのことを教えてくれたのが、ミヒヤエル・エンデの書いた“モモ”という本です。

それでは、本論に入ります。時間に2種類あると考えたのは、“モモ”がきっかけでした。“モモ”の中に、時間泥棒という軍団が出てきます。時間泥棒は人間から、一つのタイプの時間を盗みます。その時間とは、始めにお話しした勉強や仕事などの義務や責任を果たす時間ではなくて、本を読んだり、友人や家族と過ご

す自分の好きな楽しいと思える時間のほうです。つまり、時間泥棒が盗るのは、この過ごして楽しい方の時間なのです。

この時間は、時間泥棒にとって最高の栄養です。時間を盗られた人間は、人間関係が上手くいかなくなります。ギスギスして冷めた、不幸な人間になってしまうのです。好きなことをする楽しい時間が無いことはとても不幸です。また、それを楽しいと感じられなくなってしまうことも不幸です。

「時間」は人生そのものです。今、この1分1秒が人生の大切な1コマです。その、人生の中で、人間はいつも幸せを求めています。人間は幸せになることを求める存在です。それが人生の目標であり、生きることの意味です。

現代の人間は物質的な豊かさを求め、それを得るために働いています。私たち学生も、一生懸命勉強をします。そしてそれも、いい会社に就職して高い給料をもらうという目標を達成するためです。しかし、それが人生の目標ではないと思います。労働の義務、役割だけが生きる目標になってしまった人間が出現し、そういう人間が増えたことに時間泥棒はつけいたのです。好きなこと、やりたいことをする幸せのために働く、という目標を完全に失った人間は不幸ではないでしょうか。

「時間」は人間が必要のために作り出したものだと思います。時間は生活のリズムを作るため、仕事や勉強を計画的に進めるために必要なものです。そもそも計画的という考え方は時間があればこそです。そして時間泥棒もまた、人間が生み出したものです。人間が、本来の目標を忘れてしまった、意識しなくなってしまうことで、時間泥棒は生み出されたのです。

繰り返しになりますが、人間は生きるために働いています。辛い仕事でも、辞めずに毎日頑張ろうと思うのは、毎日をよりよく生きるためです。楽しく、幸せに生きるためです。勉強をがんばるのもまた、同じような理由です。それを忘れてしまった人間たちに、エンデは“モモ”で警告をしたかったのかもしれない。

原稿を書いている、エンデのもう一つの作品、「はてしない物語」を思い出しました。学校が嫌い、物置に隠れていた読書好きの少年が主人公です。彼が、不思議な本屋から勝手に持ってきてしまった本は、読みたくない場面を飛ばすことができませんでした。つまり、嫌なことからは決して逃げられないけれど、勇気を持って努力すれば、必ず道が開けることを言い

たかったのだと思います。

エンデの二つの物語には共通しているところがあります。それは、辛いことや義務、責任を果たす生き方や「時間」は大事なことだということ。そして、好きなことや希望をかなえる生き方も大切だということをお伝えしたかったのだと思います。どちらも私の心に強く響くものがありました。

好きなことをする時間、友人と話したり、家族と団らんしたりする、そういう心の安らぎを得ることのできる時間が、人間にとって、一番の幸せではないでしょうか。

意見発表会の題材を「時間」にするとおっしゃったとき、先生にも母にも「“モモを読みなさい”」と言われました。図書館で探してみたら、5冊もあるのに全部貸し出されていました。前に1度読んだことがあったので、もう1度読むのは、正直面倒くさかったです。テーマを決めてしまった後に、全然書き進めることができなくて悶々と悩んだこともありました。でも、こうしていま皆さんにお話しできているということは、“モモ”や“はてしない物語”でいう、辛いことを乗り越えて最後のハッピーエンドまでこられた、ということです。エンデは辛いことから逃れられないということのほかに、でもそれを乗り越えればハッピーエンドが必ず待っているということもお伝えしたかったのだと思います。

これで私の発表は終わりますが、「時間」は人生そのものであるということ。辛いこと、悲しいこと、楽しいこと、うれしいことを感じる全ての「時間」がかけがえのないものだということが伝わったでしょうか。

ここでお話をできている、そしてそれを皆さんが聴いてくださっているこの「時間」は、私にとってかけがえのない「時間」です。私の話は、皆さんにとってかけがえのない「時間」になることができましたか？

中野区内のすべての学校から、代表生徒によるスピーチがありました。中学生の柔らかな感性としっかりした意志表示がすばらしいものでした。また「学ぶ」ことの意義を自分なりに考えた発表もあり、頼もしい中学生の姿に感動しました。みんなの前で自分の意見を発表することはとても勇気がいることだと思います。真剣さ、ひたむきさを大切に生きるみなさんの活躍を応援していきたいものです。

3年生 国際交流授業

12月17日(土)3年生の国際交流の授業があり、3人の留学生の方々をお招きしました。どの国の方もそれぞれ自国の誇りを持って生きている姿に、たいへん学ぶことが多く、有意義な時間となりました。

<マレーシアよりサラさん 一橋大学社会学部>

マレーシアの特色・民族構成・行事・生徒の一日などわかりやすく、話してくれました。



<グルジアよりダヴィドさん慶応大学修士課程>

地理や国旗・国章の紹介・食文化・スポーツなど外交官を目指して学んでいるという将来の夢を話してくれました。



<中国よりタンショウさん 東工大・院研究生>

地域による食文化の違いや近代的な上海や北京の景観などを紹介してくれました。



東京駅伝大会結団式

12月10日(土)教育センターにて、第3回中学生「東京駅伝」大会の結団式が行われました。昨年度は震災のために中止されましたが、今年度は24年3月20日(火)味の素スタジアムにて、開催の予定です。本校からは、2年生4人が選手としてエントリーし、トレーニングに参加しています。

新橋 くん
鈴木 くん
安田 くん
星 さん



地域清掃活動

12月17日(土)の午後は、生徒が班ごとに分かれて、地域の清掃活動をしました。たくさんの保護者の方々にボランティア活動にご協力いただきありがとうございました。寒い日でしたが、協力して、道路脇の植え込みの空き缶を拾ったり、公園の銀杏の葉を集めたりしました。



部活動試合結果

卓球部
第54回東京都中学校新人卓球大会
男子ベスト32位 鈴木 くん
女子ベスト64位 大槻 さん

バスケットボール部
第19回中野区中学校
バスケットボール南北対抗戦
女子 2年 山本 さん
得点王になり優秀選手に選出。

テニス部
中野区冬季研修大会
山本・赤松ペア 第3位

<保護者による学校評価のお礼>

12月に実施いたしました保護者による学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この結果を参考に、改善策を立て、さらに充実した教育活動を行っていくよう、学校改革を進めていきたいと考えています。保護者の皆様の貴重なご意見を生かせるように努力してまいります。

1月の主な行事

- 10日(火) 授業始め
- 11日(水) 校内書き初め展始め
- 14日(土) 学校公開日
- 17日(火) 避難訓練(起震車体験)
- 18日(水) 私立推薦出願
- 19日(木) 百人一首大会(1年)
- 22日(日) 私立推薦入試
- 23日(月) 朝礼
- 24日(火) 安全指導・研究授業
都立推薦出願
- 25日(水) 私立一斉出願
- 27日(金) 区連合作品展始め
校内書き初め展終わり
都立推薦入試
- 28日(土) 都立推薦入試
- 31日(火) 連合作品展終わり
音楽鑑賞教室

<3年生の保護者の皆様へ>

早朝の凜とした空気の中で、校庭を野球部の生徒たちが黙々と走っています。日々のトレーニングが子どもたちの心とからだを作っていくのでしょう。

なでしこジャパンを女子サッカーワールドカップで優勝に導き、女子最優秀監督賞を受賞した佐々木則夫監督がテレビで次のようにお話されました。

「試合が始まってしまえば、選手を信じるしかありません。私にできることは、緊張をほぐす言葉かけくらいです。」3年生の生徒たちは受験を控えていることと思います。今週から出願や入試の準備が始まりますが、どうぞ温かい言葉をかけて、笑顔で「行ってらっしゃい」と送り出しましょう。

